Microsoft Excelのサンプル レポート

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/reporting/concept_sample_microsoft_excel_reports.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Microsoft Excelのサンプル レポート 1
Active IQ Unified Manager で Microsoft Excel のサンプルレポートを理解する 1
Active IQ Unified Manager でアグリゲート容量のテーブルとグラフを表示するレポートを作成する 1
Active IQ Unified Manager でアグリゲートの合計容量と使用可能な容量のグラフを表示する 3
Active IQ Unified Manager で利用可能なボリューム容量チャートを表示するレポートを作成する 7
Active IQ Unified Manager で使用可能な IOPS が最も多いアグリゲートを表示するレポートを作成する . . 9

Microsoft Excelのサンプル レポート

Active IQ Unified Manager で Microsoft Excel のサンプルレポートを理解する

ここでは、Microsoft Excelのサンプル レポートをとおして、Excelの高度な機能を使用したレポート オプションを紹介します。

Excelの高度な機能により、ニーズに合わせたさまざまなレポートを作成することができます。Excelの詳細な使用方法については、製品ドキュメントを参照してください。

レポートを操作するには、アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

Active IQ Unified Manager でアグリゲート容量のテーブルとグラフを表示するレポートを作成する

合計および集合縦棒グラフ形式を使用して、容量を分析するためのレポートをExcelファイルで作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、「健全性：すべてのアグリゲート」ビューを開き、ビューを Excel 形式でダウンロードし、使用可能容量チャートを作成し、カスタマイズした Excel ファイルをアップロードして、最終レポートをスケジュールします。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ>*アグリゲート*をクリックします。
2. レポート > *Excelをダウンロード*を選択します。



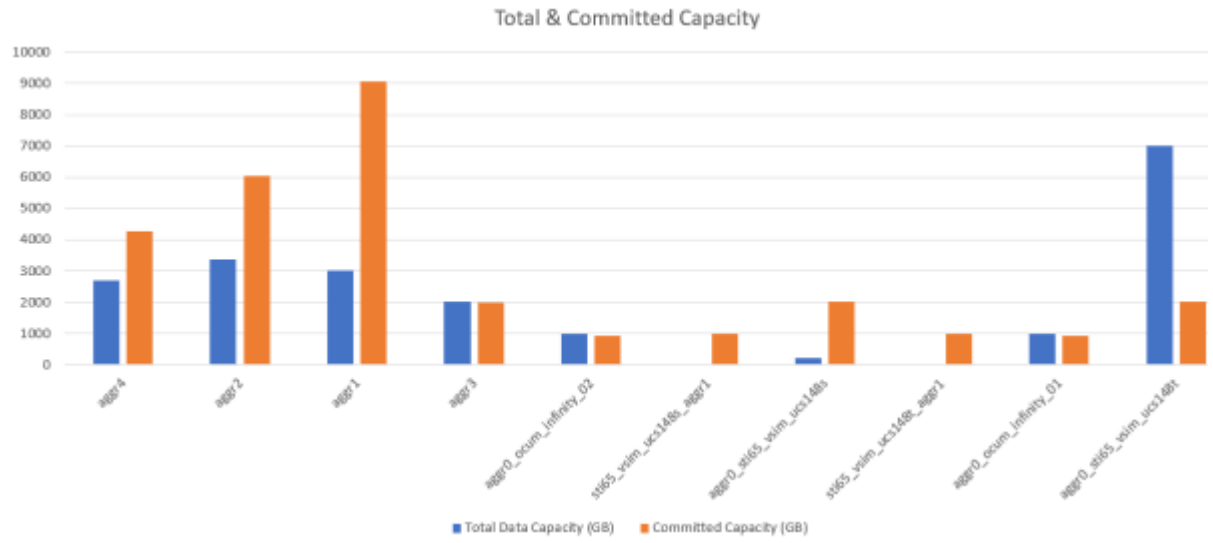
お使いのブラウザによっては、ファイルを保存するために「OK」をクリックする必要がある場合があります。

3. 必要に応じて、*編集を有効にする*をクリックしてください。
4. ダウンロードしたファイルをExcelで開きます。
5. `data`シートの後に新しいシート（⊕）を作成し、**Total Data Capacity** という名前を付けます。
6. 作成したTotal Data Capacityシートに次の列を追加します。
   a. 合計データ容量（GB）
   b. コミット済み容量（GB）
   c. 使用済みデータ容量（GB）
   d. 使用可能なデータ容量（GB）
7. 各列の最初の行に、次の式を入力します。必ず、dataシート（data!）を参照し、キャプチャされたデータの正しい列と行を参照してください（Total Data CapacityはE列の2～20行目からデータを取得します）。
   a. =SUM(data!E$2:data!E$20)
   b. =SUM(data!F$2:data!F$50)
   c. =SUM(data!G$2:data!G$50)
   d. =SUM(data!H$2:data!H$50)

   この式は、現在のデータに基づいて各列の値を合計します。

Total Data Capacity (GB)	Committed Capacity (GB)	Used Data Capacity (GB)	Available Data Capacity (GB)
5380.31	6892.47	11764.27	3911.03

1. データシートで、*総データ容量（GB）*と*コミット済み容量（GB）*の列を選択します。
2. 「挿入」*メニューから「推奨グラフ」を選択し、「集合縦棒」*グラフを選択します。
3. チャートを右クリックして「チャートの移動」を選択し、チャートを `Total Data Capacity`シートに移動します。
4. グラフを選択すると表示される「デザイン」メニューと「書式」メニューを使用すると、グラフの外観をカスタマイズできます。
5. 問題がなければ、変更したファイルを保存します。ファイルの名前や場所は変更しないでください。

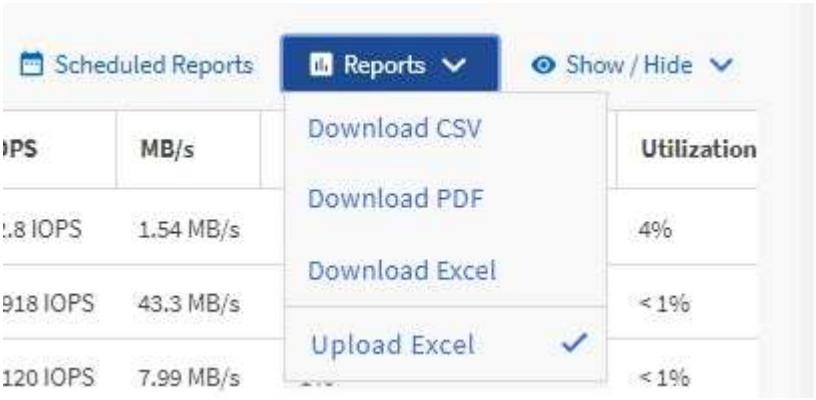


6. Unified Managerで、レポート > *Excelファイルのアップロード*を選択します。

   Excelファイルをダウンロードしたときと同じビューが表示されていることを確認してください。

7. 変更したExcelファイルを選択します。
8. *Open*をクリックします。
9. 「送信」をクリックしてください。

   レポート > **Excel**のアップロード メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。



10. *スケジュール済みレポート*をクリックします。
11. *スケジュールを追加*をクリックして、レポートスケジュールページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義できるようにします。

    レポートの形式として*XLSX*を選択してください。

12. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✓）をクリックします。

    テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、どうすればネットワーク全体で使用可能容量を有効に利用できるかを調べることができます。

Active IQ Unified Manager でアグリゲートの合計容量と使用可能な容量のグラフを表示する

ストレージの合計容量とコミット済み容量を分析するためのExcelグラフ形式のレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

以下の手順に従って、Health：All Aggregatesビューを開き、ビューをExcelでダウンロードし、合計容量とコ

ミット済み容量のグラフを作成し、カスタマイズしたExcelファイルをアップロードして、最終レポートのスケジュールを設定します。

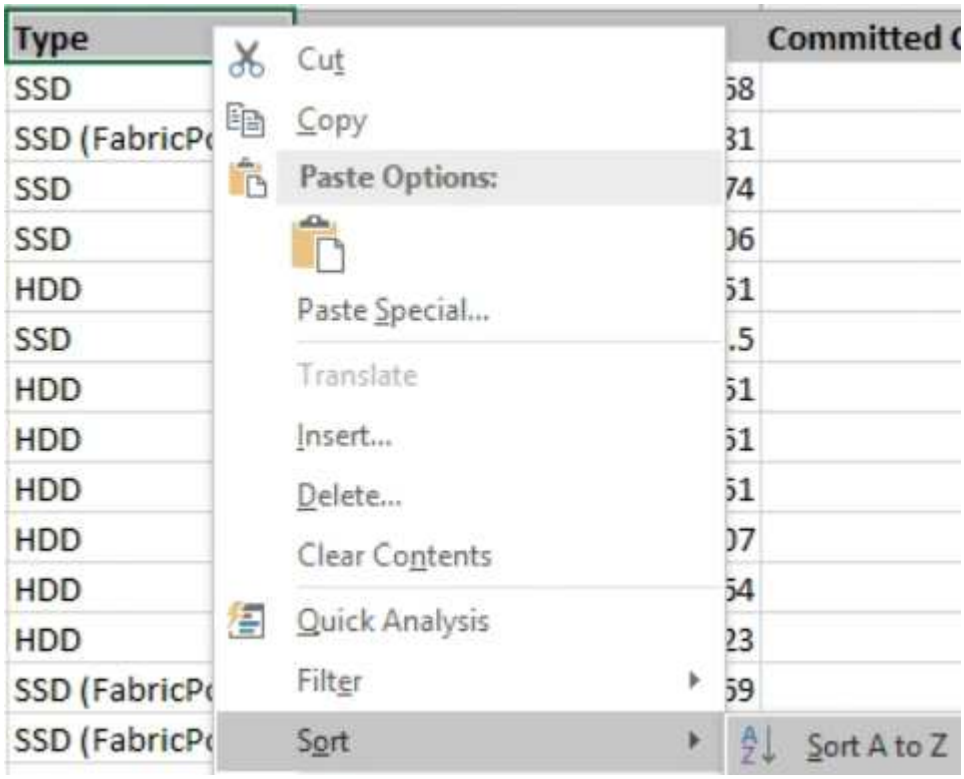
手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ>*アグリゲート*をクリックします。
2. レポート > *Excelをダウンロード*を選択します。



お使いのブラウザによっては、ファイルを保存するために「OK」をクリックする必要がある場合があります。

3. ダウンロードしたファイルをExcelで開きます。
4. 必要に応じて、*編集を有効にする*をクリックしてください。
5. データシートで、タイプ列を右クリックし、並べ替え > **A** から **Z** に並べ替え を選択します。

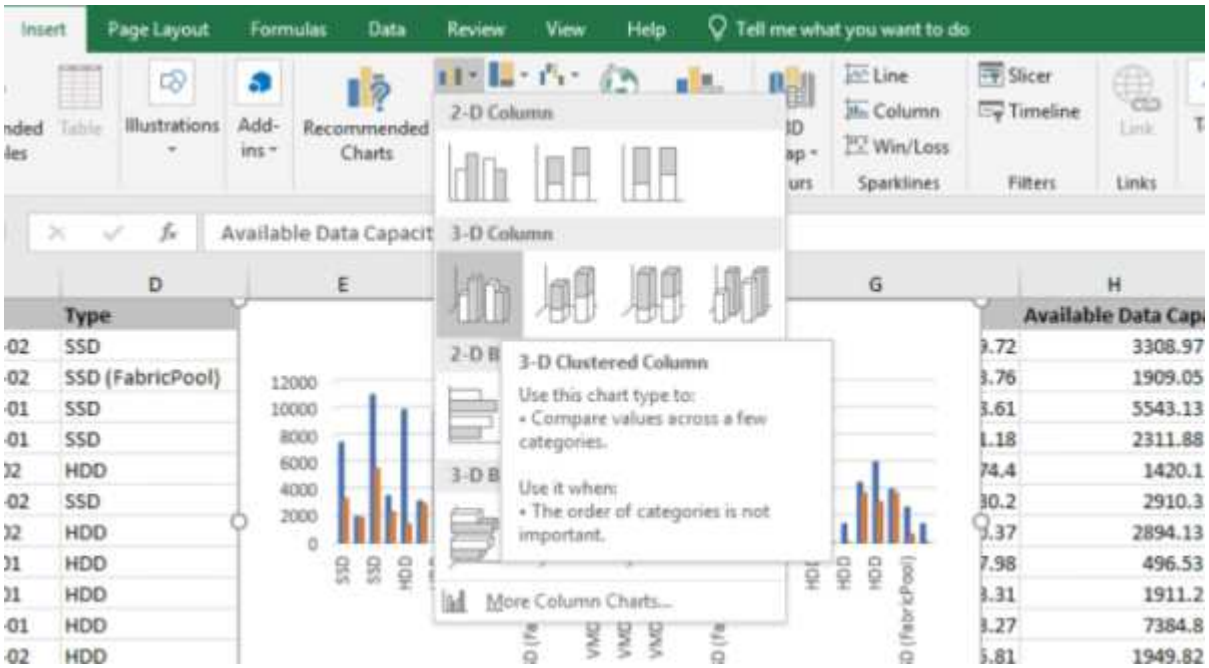


次のようなストレージ タイプ別にデータが並べ替えられます。

- HDD
- ハイブリッド
- SSD
- SSD（FabricPool）

6. `Type, Total Data Capacity,`と `Available Data Capacity`の列を選択します。
7. *挿入*メニューで、 `3-D column`チャートを選択します。

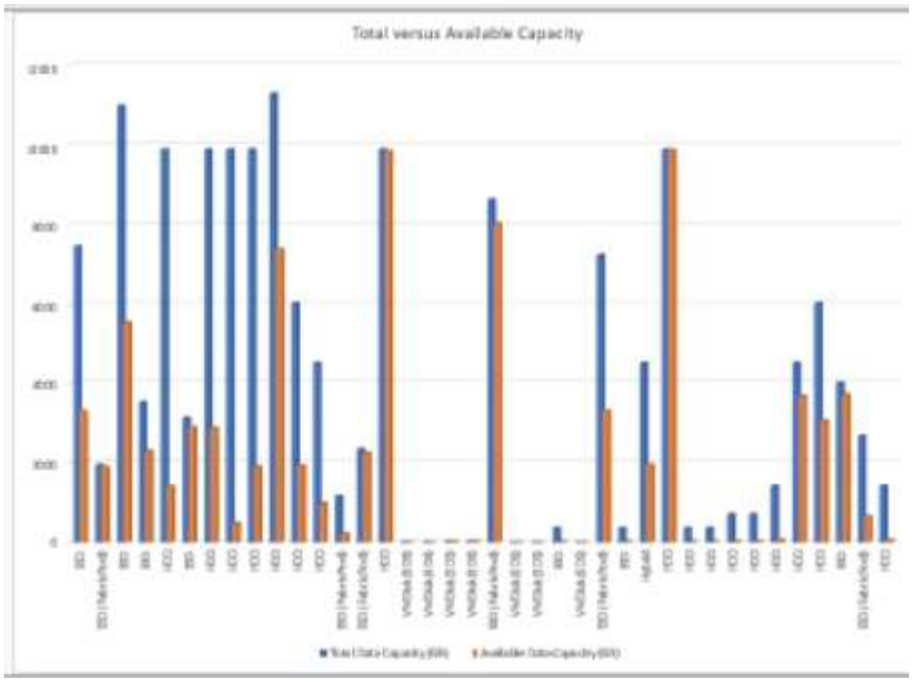
   グラフがdataシートに表示されます。



8. グラフを右クリックして、*Move Chart*を選択します。
9. *新規シート*を選択し、シート名を*Total Storage Charts*とします。

   infoシートとdataシートのあとに新しいシートが表示されることを確認してください。

10. グラフのタイトルを 総容量対利用可能容量 としてください。
11. グラフを選択すると表示される「デザイン」メニューと「書式」メニューを使用すると、グラフの外観をカスタマイズできます。
12. 問題がなければ、変更したファイルを保存します。ファイルの名前や場所は変更しないでください。

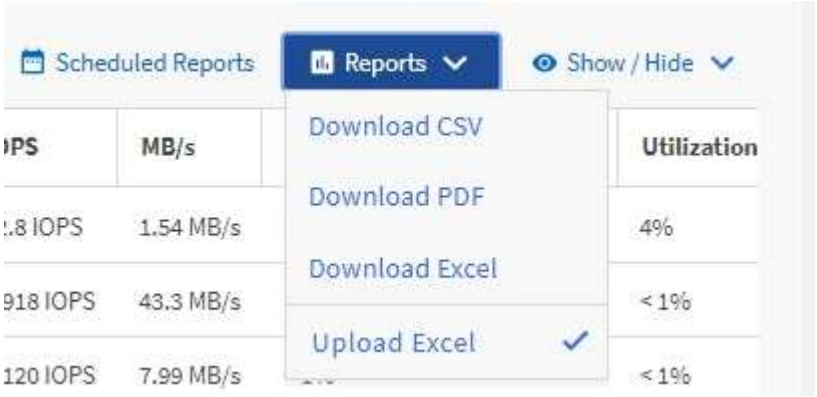


13. Unified Managerで、レポート > *Excelファイルのアップロード*を選択します。

   Excelファイルをダウンロードしたときと同じビューが表示されていることを確認してください。

14. 変更したExcelファイルを選択します。
15. *Open*をクリックします。
16. 「送信」をクリックしてください。

   レポート > **Excel**のアップロード メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。



17. *スケジュール済みレポート*をクリックします。
18. *スケジュールの追加*をクリックして、*レポートスケジュール*ページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義します。

   レポートの形式として*XLSX*を選択してください。

19. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後に

あるチェックマーク（）をクリックします。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、アグリゲートの負荷を分散できます。

Active IQ Unified Manager で利用可能なボリューム容量チャートを表示するレポートを作成する

使用可能なボリューム容量を分析するためのExcelグラフ形式のレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

以下の手順に従って、「ヘルス：すべてのボリューム」ビューを開き、ビューをExcelでダウンロードし、空き容量のグラフを作成し、カスタマイズしたExcelファイルをアップロードして、最終レポートのスケジュールを設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. レポート > *Excelをダウンロード*を選択します。



お使いのブラウザによっては、ファイルを保存するために「OK」をクリックする必要がある場合があります。

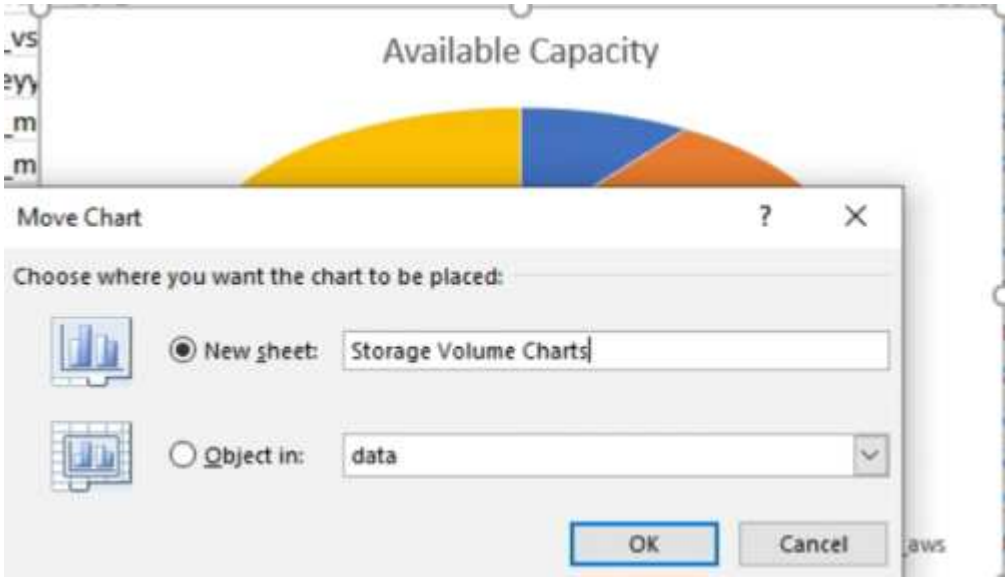
3. 必要に応じて、*編集を有効にする*をクリックしてください。
4. ダウンロードしたファイルをExcelで開きます。
5. `data`シートで、 `Volume`および `Available Data`%列で使用するデータを選択します。
6. 「挿入」メニューで、 `3-D piechart`.

使用可能なスペースが最も多いボリュームがグラフに表示されます。グラフがdataシートに表示されます。

ネットワーク設定によっては、列全体を選択したり、選択したデータ行が多すぎると、円グラフが読めなくなることがあります。このサンプルでは3-D円グラフを使用していますが、任意のグラフ タイプを使用できます。キャプチャするデータが適切に表示されるグラフを使用してください。

7. グラフのタイトルを*利用可能な容量*とします。
8. グラフを右クリックして、*Move Chart*を選択します。
9. *新規シート*を選択し、シート名を*Storage Volume Charts*にします。

infoシートとdataシートのあとに新しいシートが表示されることを確認してください。

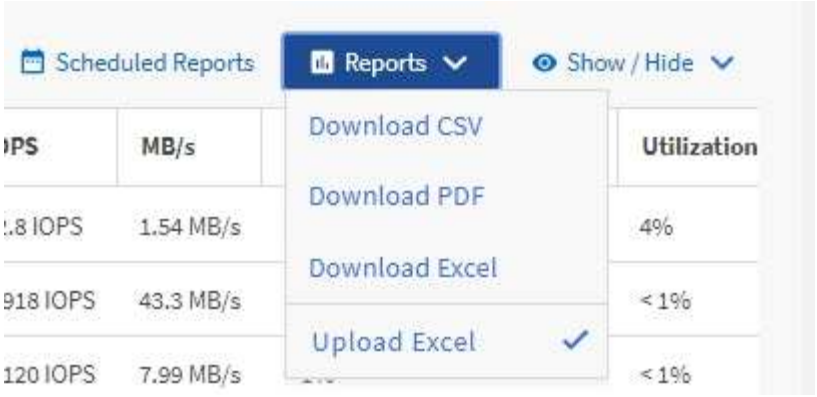


10. グラフを選択すると表示される「デザイン」メニューと「書式」メニューを使用すると、グラフの外観をカスタマイズできます。
11. 問題がなければ、変更したファイルを保存します。
12. Unified Managerで、レポート > *Excelファイルのアップロード*を選択します。

Excelファイルをダウンロードしたときと同じビューが表示されていることを確認してください。

13. 変更したExcelファイルを選択します。
14. *Open*をクリックします。
15. 「送信」をクリックしてください。

レポート > **Excel**のアップロード メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。



16. *スケジュール済みレポート*をクリックします。
17. *スケジュールの追加*をクリックして、*レポートスケジュール*ページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義します。
18. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✓）をクリックします。

    レポートの形式として*XLSX*を選択してください。

    テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、ボリュームの負荷を分散できます。

Active IQ Unified Manager で使用可能な IOPS が最も多いアグリゲートを表示するレポートを作成する

このレポートは、使用可能なIOPSが最も多く、新しいワークロードをプロビジョニング可能なアグリゲートをアグリゲート タイプ別に表示します。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

以下の手順に従って、「ヘルス：すべてのボリューム」ビューを開き、ビューをExcelでダウンロードし、空き容量のグラフを作成し、カスタマイズしたExcelファイルをアップロードして、最終レポートのスケジュールを設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ>*アグリゲート*をクリックします。
2. 「表示」ドロップダウンから「パフォーマンス：すべてのアグリゲート」を選択します。
3. *Show/Hide*を選択して `Available IOPS`列を表示し、 `Cluster FQDN, Inactive Data Reporting,`および `Threshold Policy`列を非表示にします。
4. `Available IOPS` および `Free Capacity` 列をドラッグして、 `Type` 列の横にドロップします。
5. カスタムビューに名前を付けて保存する `Available IOPS Per Aggr.`
6. レポート > *Excelをダウンロード*を選択します。



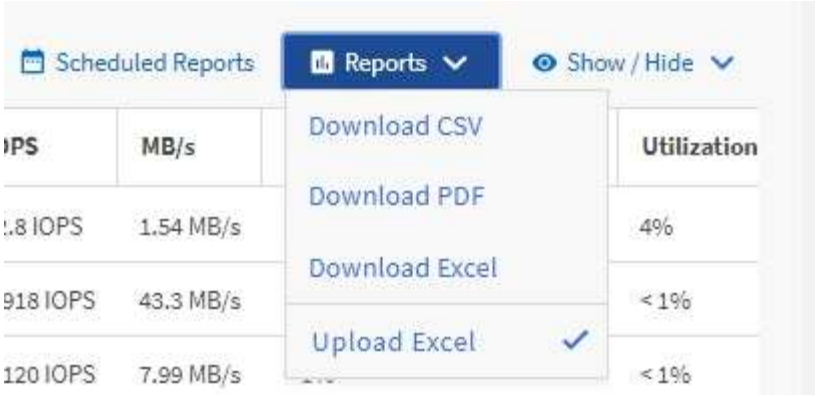
お使いのブラウザによっては、ファイルを保存するために「OK」をクリックする必要がある場合があります。

7. 必要に応じて、*編集を有効にする*をクリックしてください。
8. ダウンロードしたファイルをExcelで開きます。
9. dataシートの左上にある小さい三角形をクリックして、シート全体を選択します。
10. データ リボンで、 `Sort & Filter area.`から 並べ替え を選択します
11. 次の並べ替えレベルを設定します。
    a. *Sort by*を `Available IOPS`（IOPS）に、*Sort On*を `Cell Values,`に、*Order*を `Largest to Smallest.`に指定します。
    b. *レベルを追加*をクリックします。
    c. *Sort by*を `Type`、*Sort On*を `Cell Values,`、*Order*を `Z to A.`に指定します。
    d. *レベルを追加*をクリックします。
    e. *並べ替え*を `Free Capacity (GB),`、*並べ替えの基準*を `Cell Values,`、*順序*を `Largest to Smallest.`に指定します。
    f. *OK*をクリックします。
12. Excelファイルを保存して、閉じます。
13. Unified Managerで、レポート > *Excelファイルのアップロード*を選択します。

    Excelファイルをダウンロードしたときと同じビューが表示されていることを確認してください。

14. 変更したExcelファイル、この場合は `performance-aggregates-<date>.xlsx.`を選択します
15. *Open*をクリックします。
16. 「送信」をクリックしてください。

レポート > **Excel**のアップロード メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。



17. *スケジュール済みレポート*をクリックします。
18. *スケジュールを追加*をクリックして、レポートスケジュールページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義できるようにします。
19. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✓）をクリックします。

    レポートの形式として*XLSX*を選択してください。

    テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、使用可能なIOPSが最も多いアグリゲートに新しいワークロードをプロビジョニングできます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。